

(2) 船橋市の歯・口腔に関する課題と取り組みについて

令和6年度 船橋市歯・口腔の健康推進協議会
令和6年11月7日(木)
午前10時00分～

令和5年度の協議会で挙げられていた 「取り組めていないこと・課題になっていること」

1. むし歯・歯周病予防

- ①フッ化物洗口事業の全市立小学校全学年での実施
- ②北部地区にむし歯の子どもが多い
- ③永久歯列に生え変わる学齢期の健康教育
- ④進行した歯周炎を有する人の割合が国や県より高い

2. 口腔機能の獲得・維持・向上

- ①乳幼児期、学齢期の口腔機能発達についての情報提供
（「お口ぽかん」の小学生の増加）
- ②オーラルフレイルについて成人・高齢者向けに周知啓発を行う

1. むし歯・歯周病予防

① フッ化物洗口事業の全市立小学校全学年での実施

▶ 市民や学校関係者等にフッ化物について正しい知識を発信していく

【取り組み内容】

- ▶ R5年12月 PTA連合会理事会にてフッ化物洗口等について説明・実演し、リーフレット配布
- ▶ 学校教職員対象の説明会を実施
- ▶ 健康まつり、歯っぴいフッ化物塗布事業で洗口体験

<R5年度 フッ化物洗口実績>

- ・実施校数 54校/55校
- ・実施クラス数 949クラス
- ・洗口実施人数 26,801人



フッ化物洗口



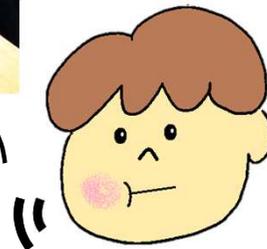
薬局で調製した「フッ化物洗口液」を週1回学校に配送



洗口液の入ったボトルから各クラスで紙コップに分ける



週1回、1分間のぶくぶくうがい



<職員説明会>
事業の目的や実施方法の説明



児童へ動画を使用して説明

<フッ化物洗口事業の取り組み>

平成22年度～平成24年度 モデル事業（保育園2園・幼稚園2園・小学校3校）
 平成25年度 検討委員会を立ち上げ、小学校の全校全学年での実施を目指すこととした
 平成30年度 全小学校54校（当時）での取り組みが達成
 令和2年度 子どもの貧困対策「親子のしあわせ応援プロジェクト」の推進すべき事業
 令和2年3月～令和3年9月まで中止。令和3年10月より事業再開



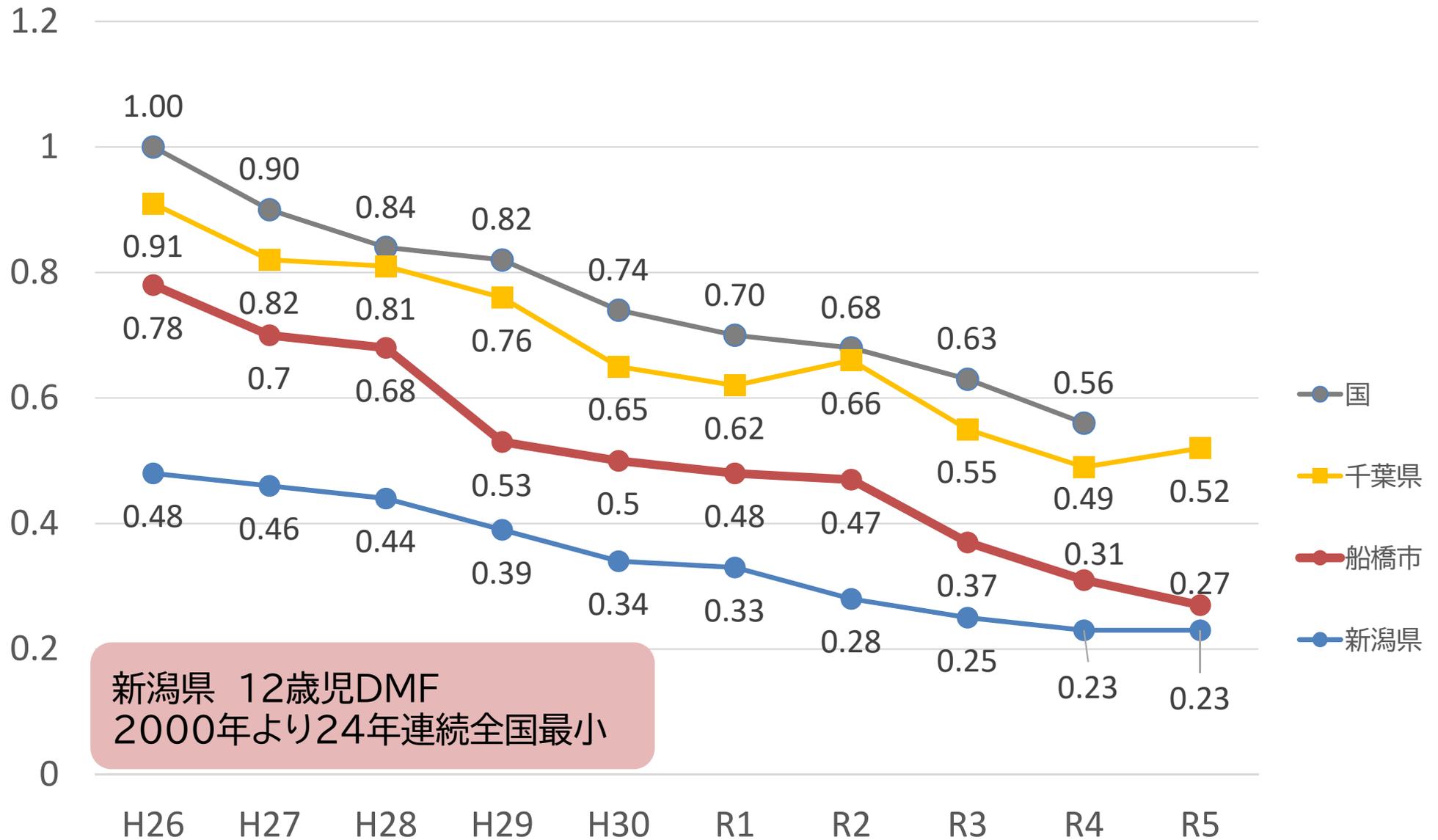
※R3年度1校新設され、市立小学校55校となる

	平成26年度	～	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (9月末現在)
実施校数	10校		54校	54校		15校	26校	54校	52校
実施クラス数	46クラス		525クラス (49.1%)	681クラス (63.8%)	コ ロ ナ 禍 に て 中 止	246クラス (23.2%)	440クラス (41.5%)	949クラス (89.7%)	925クラス (88.8%)
実施人数	1,406人		15,513人	20,189人		7,253人	12,746人	26,801人 (83.4%)	25,795人 (82.4%)
1校での 最小実施 学年数	1学年 (5校)		1学年 (17校)	1学年 (1校)		2学年 (1校)	1学年 (1校)	1学年 (2校)	2学年 (2校)
1校での 最大実施 学年数	4学年 (2校)		全学年 (13校)	全学年 (19校)		全学年 (14校)	全学年 (22校)	全学年 (47校)	全学年 (50校)

※令和6年5月1日現在 小学校55校 1,042(特別支援学級108)クラス 31,291(特別支援学級667)人

12歳児DMFの年次推移

(※DMF 1人平均むし歯本数)



新潟県 12歳児DMF
2000年より24年連続全国最小

出典:「歯科疾患の現状と歯科保健対策(乳幼児期～青少年期) 令和5年度版」
新潟県福祉保健部 新潟県教育委員会
「学校保健統計調査」 文部科学省

1. むし歯・歯周病予防

NEW

②北部地区にむし歯の子どもが多い

- ▶北部地区に対してむし歯予防のアプローチを行う
- ▶世代別・地区別にて各健診結果を集計し考察をする

【取り組み内容】

NEW

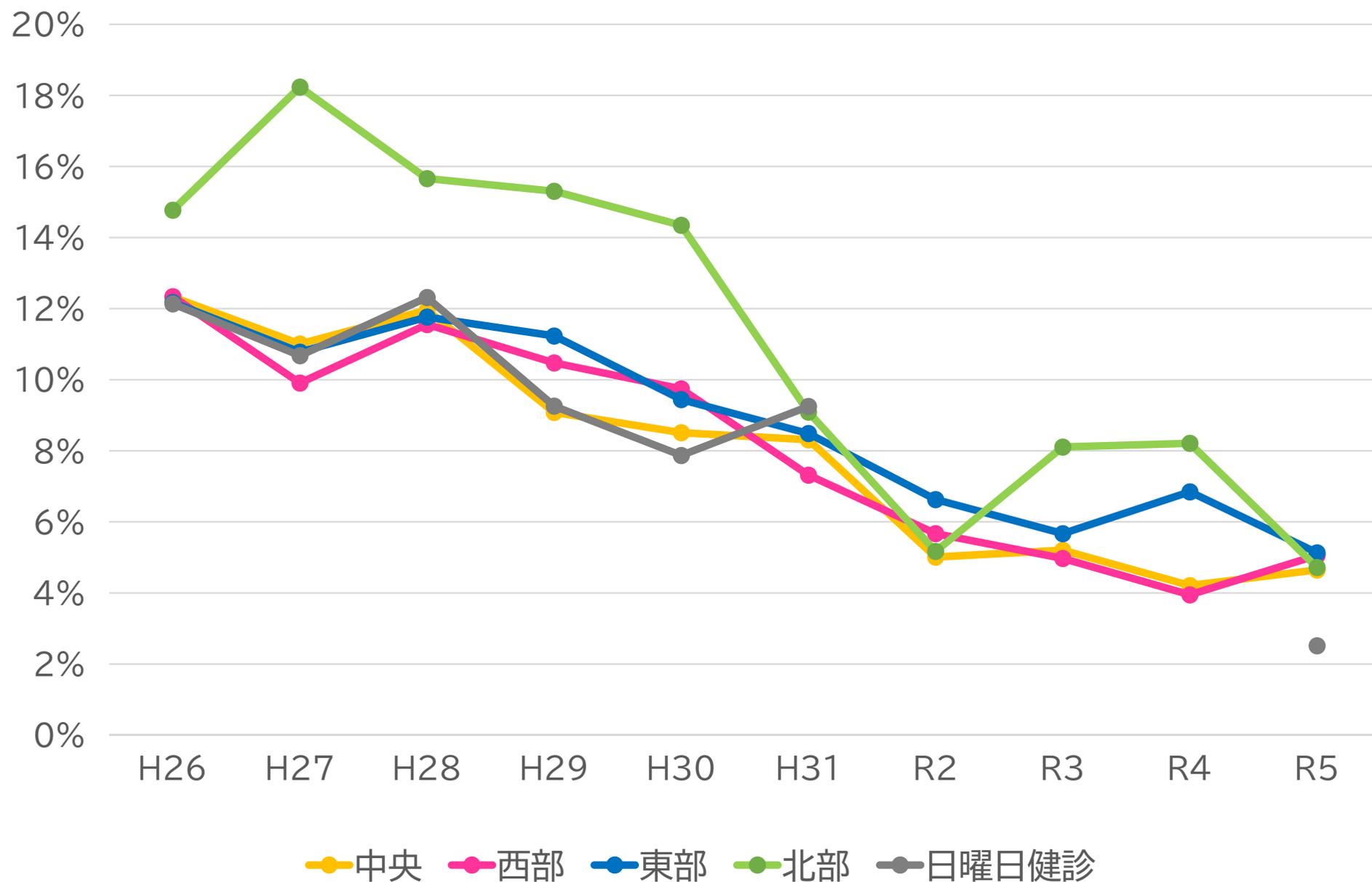
- ▶R6年4月～ 北部保健センターでの1歳6か月児健診でフッ化物塗布を開始
- ▶歯科健診の結果について地区別で集計し、結果を検討



令和6年度 北部保健センター
1.6健診フッ化物塗布実績

	来所 人数	F塗布 人数	塗布率
4月	32	32	100%
5月	47	36	76.6%
6月	31	28	90.3%
7月	38	35	92.1%
8月	38	37	97.4%
9月	22	20	90.9%

健診会場別 3歳児健診 むし歯有病者率 年次推移



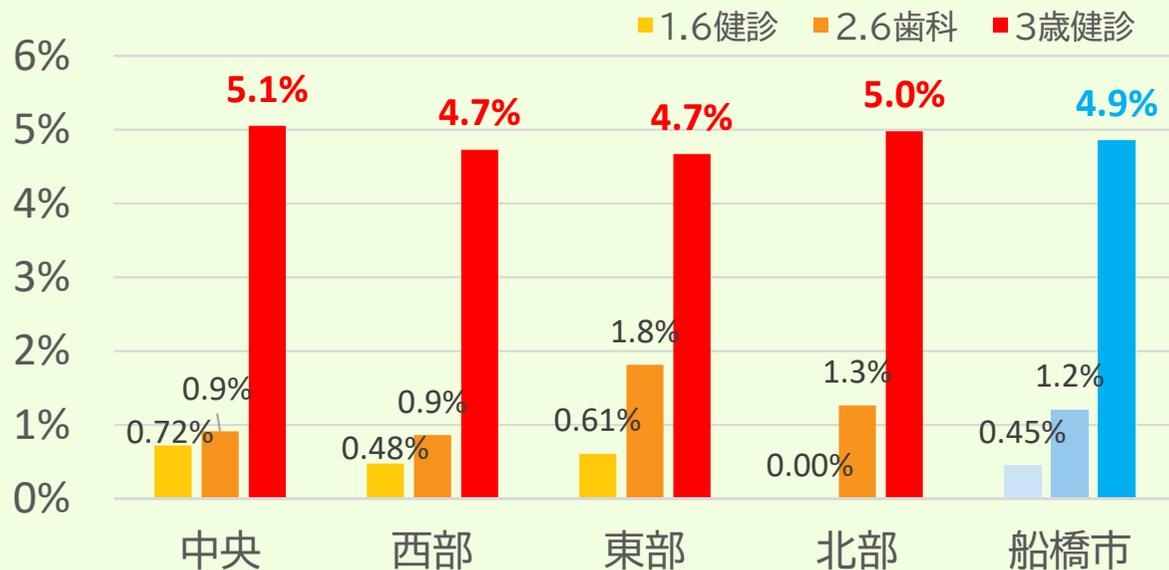
船橋市

- ・24地区コミュニティにわけている
- ・4つの保健センターの地区担当が在籍している地区で分けている
- ・交通アクセス等の関係で、地区担当が在籍しているセンターでないセンターを健診会場として案内している地区もある



地区担当が在籍している
地区別で集計することとした



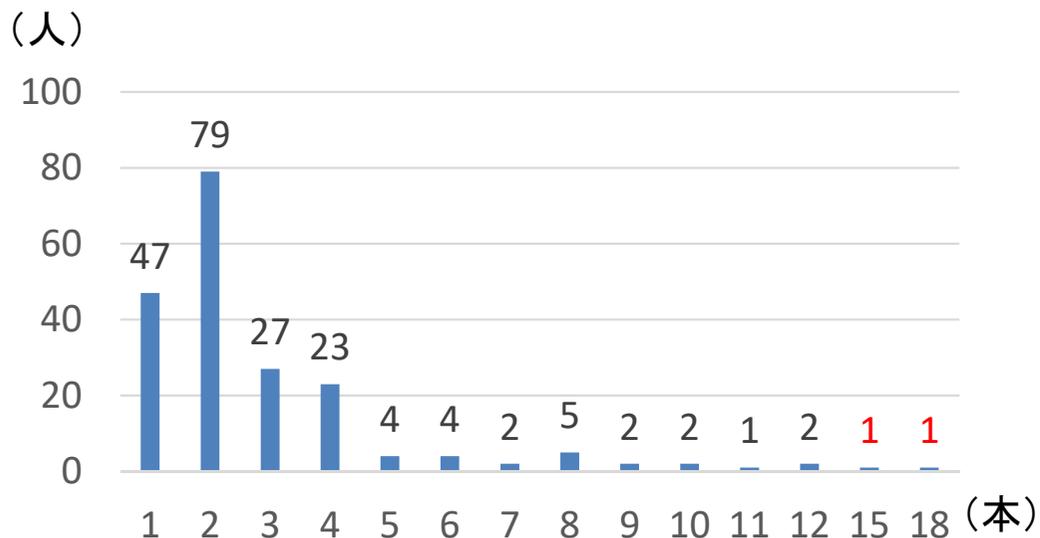


3歳健診 dft指数

中央	0.16
西部	0.11
東部	0.12
北部	0.16
船橋市	0.14

令和5年度3歳児健診 むし歯のある者 : 202名(4.9%)

◆むし歯の本数別人数

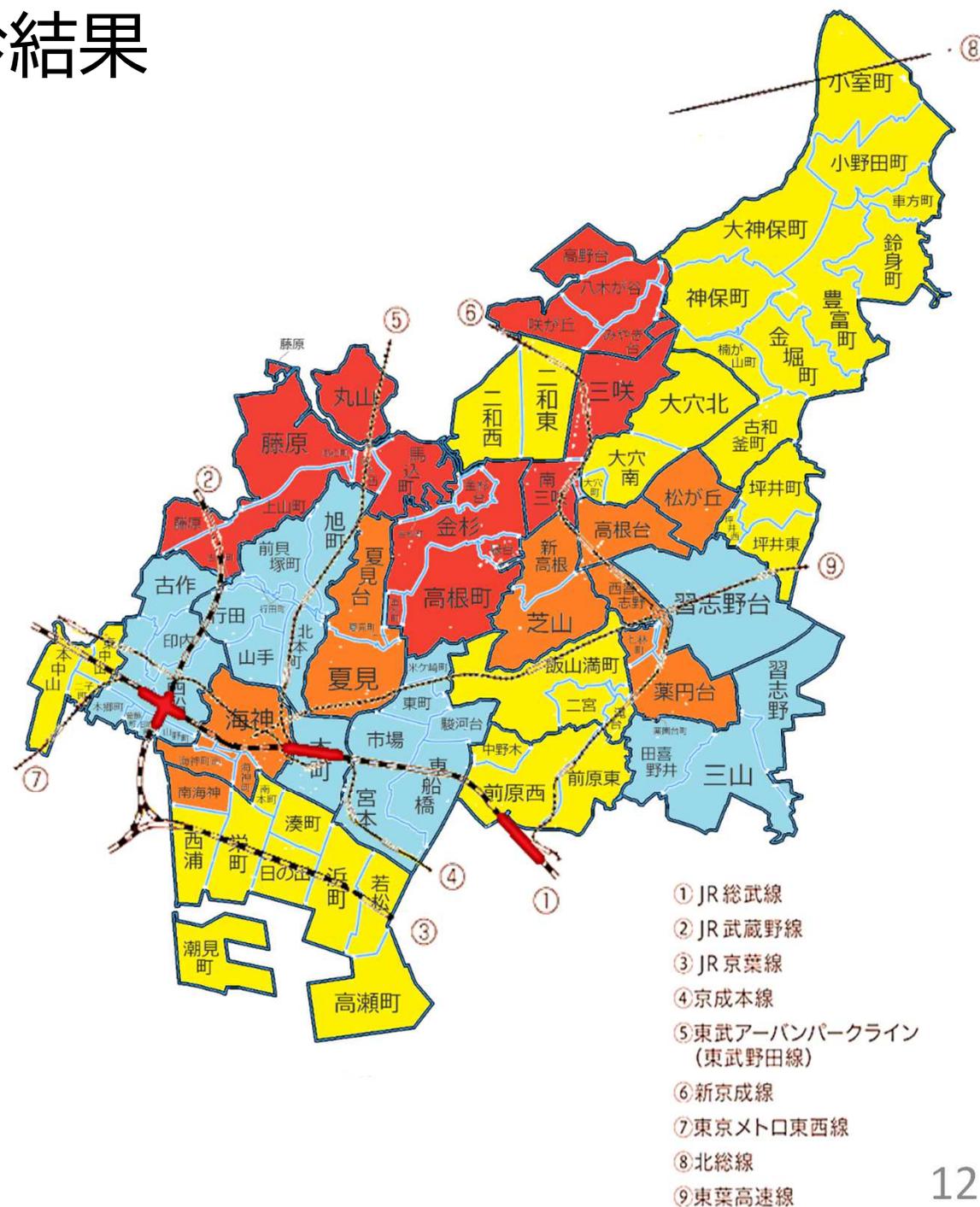


◆むし歯の本数が4本以上ある者

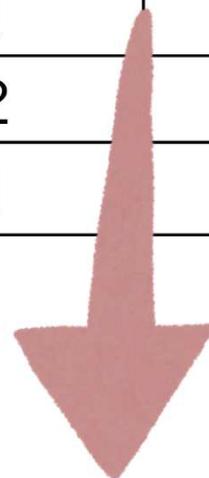
	むし歯のある者	むし歯4本以上	割合(%)
船橋市	202	47	23.3%
中央	68	18	26.8%
西部	52	7	13.5%
東部	47	12	25.5%
北部	35	10	28.6%

令和5年度 3歳児健診結果

むし歯有病者 市平均 4.84%	要観察歯保有者 市平均 3.40%
市平均より 高	市平均より 高
高	低
低	高
低	低



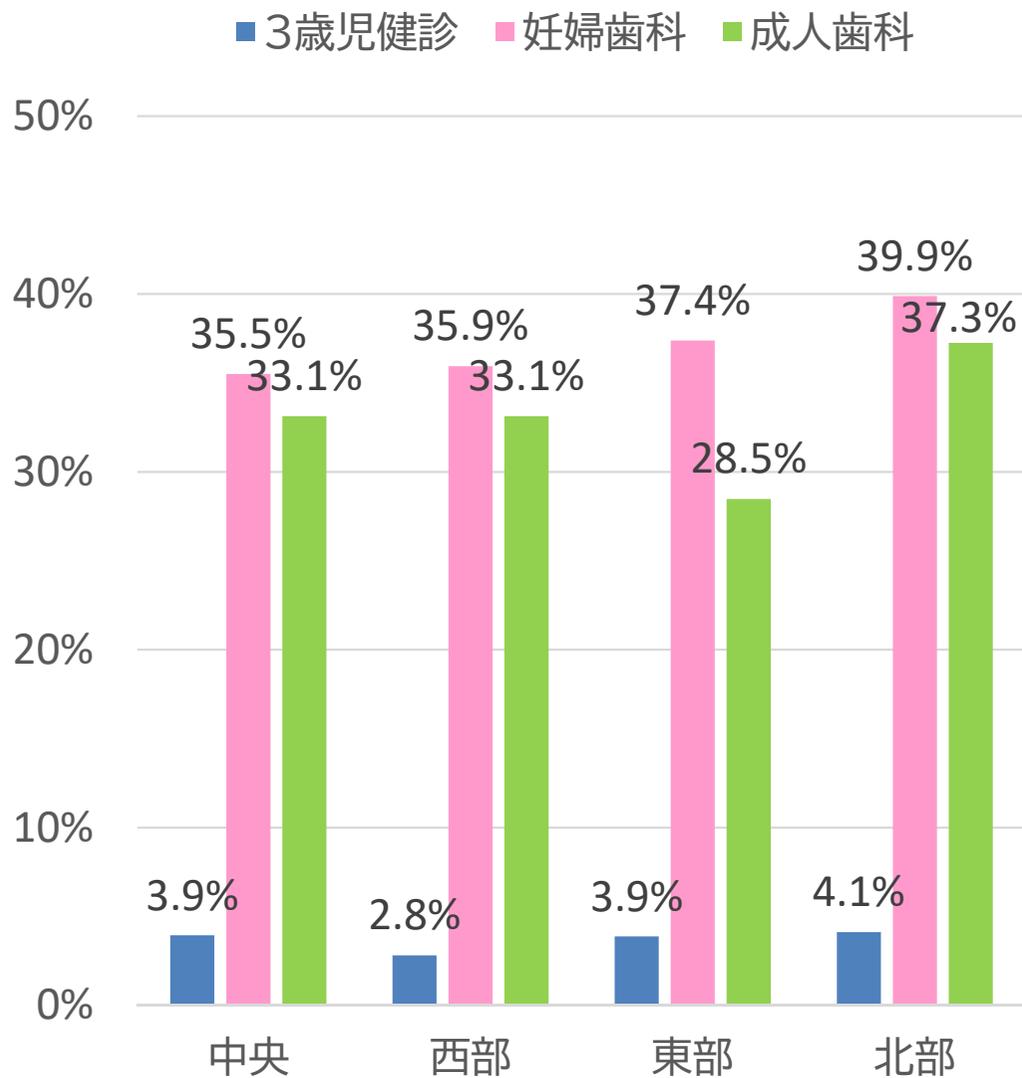
	中央 (7地区)	西部 (5地区)	東部 (5地区)	北部 (7地区)
赤	1	1	0	2
オレンジ	3	1	1	1
黄色	0	2	2	4
青	3	1	2	0



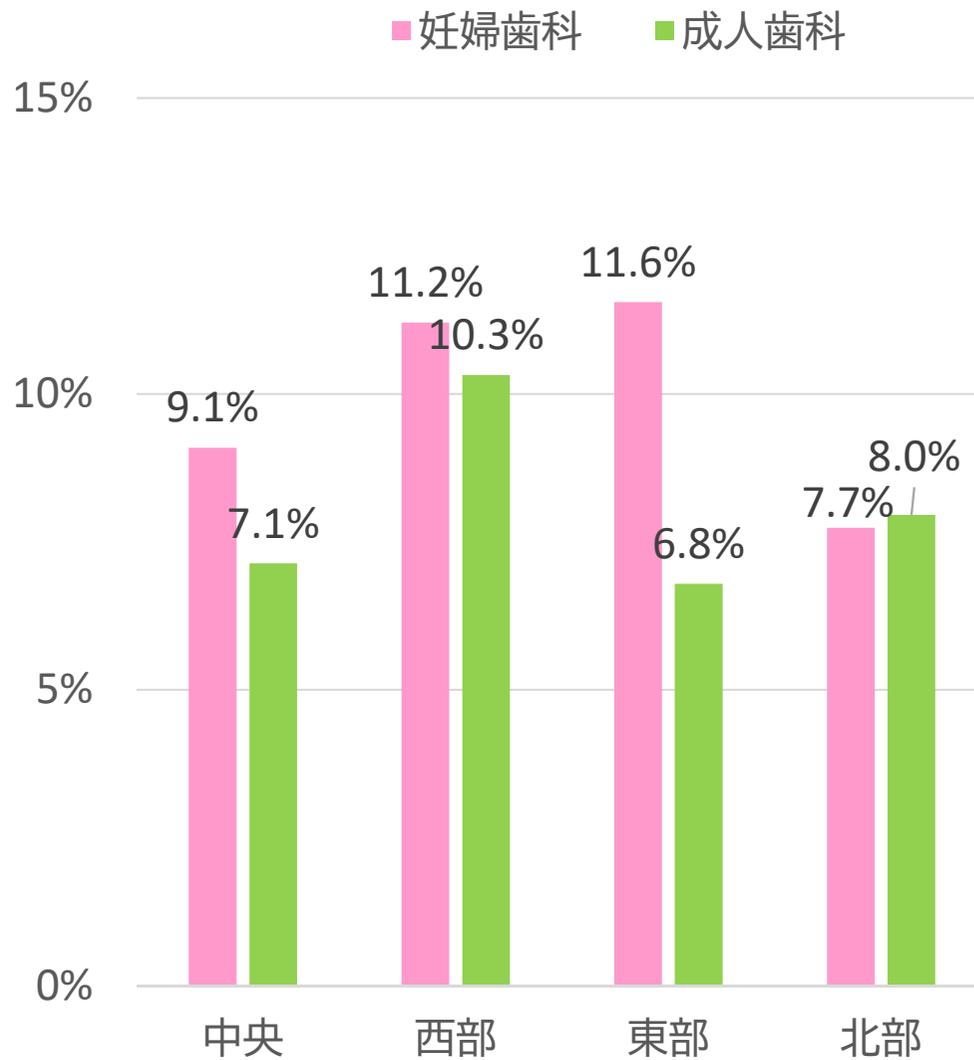
	地区内の小学校数	むし歯有病者率が 市内平均より高い小学校数
中央(金杉地区)	3	3
西部(法典地区)	4	2
北部(八木が谷地区)	3	2
北部(三咲地区)	0(学区5)	0(学区4)

【参考】令和5年度 船橋市児童生徒定期健康診断集計表より

◆未処置歯のある者の割合



◆カリエスフリーの者の割合



1. むし歯・歯周病予防

③永久歯列に生え変わる学齢期の健康教育《中長期的な取り組み》

- ▶ 生活習慣病予防とからめた学齢期の健康教育
- ▶ 小・中学生の歯肉炎対策

【取り組み内容】

- ▶ 小学校6年生に「歯肉炎予防」のパンフレットを配布
- ▶ フッ化物洗口継続学年パンフレットに「歯肉炎」について記載
- ▶  船橋市ホームページに「学齢期の歯の情報」ページを作成



1. むし歯・歯周病予防

④ 進行した歯周炎を有する人の割合が国や県より高い《中長期的な取り組み》

- ▶ 歯科受診のきっかけづくり
- ▶ 若年層（20・30歳）の成人歯科健診、妊婦歯科健診の受診率をあげる

▶ 成人歯科健康診査

R4年度 6.4% 0.5%↓
R5年度 5.9%

▶ 妊婦歯科健康診査

R4年度 29.1% 1.3%↑
R5年度 30.4%

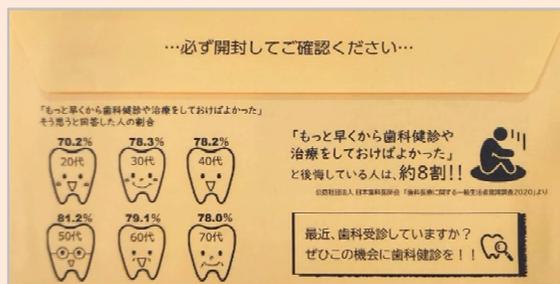
【取り組み内容】

- NEW** ▶ R5年度に成人歯科健診を受診した20歳、30歳の要精検・要治療者に受診勧奨のリーフレットの送付
- NEW** ▶ R6.7月～ 4か月児健康相談案内発送時に「かかりつけ歯科はありますか？」リーフレットを封入
- ▶ R6.9月～ 3歳児健診にて保護者の口腔内チェックを再開
- ▶ 成人歯科健診の受診票・発送封筒の工夫、ポスターデザインの変更
- ▶ 市内4か所のデジタルサイネージやショッピングモール、船橋市公式Xにて成人歯科健診のPR
- NEW** ▶ ふなばしMOREベジ協力店の飲食店、受動喫煙0推進協力店に成人・妊婦歯科健診のポスター貼付を依頼



4か月児健康相談の案内通知に 「かかりつけの歯科医院はありますか？」 歯科啓発パンフレットを同封

R6.9月 船橋市役所本庁舎等のデジタルサイネージにて事業周知



成人歯科健康診査ポスター デザインの変更

		1.6健診	3歳健診	妊婦歯科	成人歯科
定期健診を受けている (かかりつけのある)者	船橋市	24.7%	47.3%	27.2%	49.6%
	千葉県	22.9%	53.3%	36.6%	40.9%

資料 千葉県 令和5年度市町村歯科健康診査(検診)実績報告書より

令和6年9月 幼児健診会場での保護者への聞き取り調査

対象:保健センターでの幼児健診(1.6健診・2.6歯科健診・3歳児健診)に来所した幼児の保護者

調査人数:854名(男性107名 女性747名)

「1年以内に歯科受診しましたか？」 **66.1%**



《参考》

過去1年の間に歯科健診を受診した人の割合 **58.0%**

(令和4年歯科疾患実態調査より)

約2/3は既に歯科に
つながっている!

1. むし歯・歯周病予防

【今後の取り組み】

◎ 地域の実情に合わせた歯科保健事業の展開

- ▶ 問診票等を利用して地域のデータ分析を行う
- ▶ 地域住民や、地域に関わっている方へ情報提供を行う

◎ 永久歯列に生え変わる学齢期へのアプローチ 《中長期的な取り組み》

- ▶ 市民や学校関係者等にフッ化物について正しい知識を発信していく
- ▶ フッ化物洗口事業をとおして、児童・生徒やその保護者、教職員に対して歯・口腔の健康についての知識の啓発を行う

◎ かかりつけ歯科を持つことの周知啓発

- ▶ 歯科受診のきっかけの提供
- ▶ 若年層（20歳・30歳）の成人歯科健診受診率を上げる

2. 口腔機能の獲得・維持・向上

①乳幼児期、学齢期の口腔機能発達についての情報提供 （「お口ぽかん」の小学生の増加）

- ▶ 幼児健診の場で「ぶくぶくうがい」の啓発
- ▶ 地域保健課栄養士と啓発パンフレットの作成
- ▶ 9～11か月児対象「食育講座」にて「食べ方」についての講話を組み込む



【取り組み内容】

- NEW** ▶ ぶくぶくうがいの啓発
 - ・3歳児健診時に配布するリーフレットに「食べ方」「ぶくぶくうがい」についての情報を掲載
- NEW** ▶ 「くちトレ(お口のトレーニング)」の推進
 - ・ホームページを作成
 - ・保健福祉センターロビーでの展示
 - ・「3～6歳児・歯っぴいフツ化物塗布事業」での鼻呼吸チェック、お口を使った遊びの紹介
 - ・ふなっ子メール配信 「ぽかん口になっていませんか？」
- ▶ 食育講座講話内容の見直し
 - ・「食べ方」について内容を追加



2. 口腔機能の獲得・維持・向上

②オーラルフレイルについて成人・高齢者向けに周知啓発を行う 《中長期的な取り組み》

- ▶健康教育実施時に、「ぶくぶくうがい」の啓発
- ▶市民にフッ化物洗口の体験を実施する際に、オーラルフレイル予防についても啓発する

R6.4.1 日本老年医学会 日本老年歯科医学会 日本サルコペニア・フレイル学会 「オーラルフレイルに関する3学会合同ステートメント」

オーラルフレイルに関する概念と定義の再検討および国民がセルフチェック可能な評価法の作成が行われ、3学会合同のステートメントの形で統一見解が公表

【取り組み内容】

- ▶「めざせ！姿勢美人」・地区健康教育等にて、オーラルフレイル予防の講話を実施
R5年度実績:12回
- ▶保健福祉センターロビー、食育展でオーラルフレイル予防の展示
- ▶成人歯科健康診査受診票に「オーラルフレイル」の啓発文を掲載(ぶくぶくうがい追記)
- ▶健康づくり課職員「パタカ測定」体験

オーラルフレイル



オーラルフレイルは、ご自身で簡単にチェックできます。チェックリストでご自身のお口の健康状態を確認してみましょう。5項目のうち、2項目以上に該当する場合には、オーラルフレイルに該当します。

質問	選択肢	
	該当	非該当
自身の歯は、何本ありますか？ (さし歯や金属をかぶせた歯は、自分の歯として数えます。インプラントは、自分の歯として数えません。)	0~19本	20本以上
半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか？	はい	いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか？	はい	いいえ
口の渇きが気になりますか？	はい	いいえ
普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか？	はい	いいえ

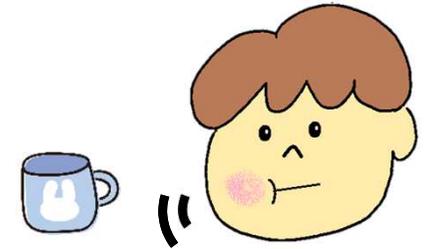
5つの項目のうち、「該当」が2つ以上あるとオーラルフレイルです。

オーラルフレイルに該当した場合には、かかりつけ歯科医やかかりつけ医、日本老年歯科医学会の専門医・認定医に相談しましょう。

日本老年歯科医学会ホームページより

2. 口腔機能の獲得・維持・向上

【今後の取り組み】



◎ **乳幼児期、学齢期の口腔機能発達についての情報提供**

- ▶ 幼児健診の場で「ぶくぶくうがい」「くちトレ」の啓発
- ▶ 幼稚園・保育園歯科指導の中に口腔機能についての内容を盛り込む
- ▶ 小学生への口腔機能発達について啓発する場の検討

◎ **オーラルフレイルについて成人・高齢者向けに周知啓発を行う** 《中長期的な取り組み》

- ▶ 健康教育実施時に、「ぶくぶくうがい」の啓発・オーラルフレイルチェックの実施
- ▶ 市民にフッ化物洗口の体験を実施する際に、オーラルフレイル予防についても啓発する

3. その他

▶多職種連携

▶船橋薬剤師会

- ・2歳6か月児歯科健診「お薬相談コーナー」
令和6年度 21回開催予定

- ・10/22(火)薬剤師会WEBセミナー
「薬剤師による歯科保健指導から始まる？歯薬連携」



船橋薬剤師会 WEB セミナーのご案内

謹啓 秋晴の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記のとおり Zoom を利用したオンライン講習会を開催致します。
ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。 謹白

【日時】 令和6年10月22日(火) 19:30~21:00

【講演】 19:30 「薬剤師による歯科保健指導から始まる？歯薬連携」

東京歯科大学 社会歯科学講座 教授 平田 創一郎先生

○船橋薬剤師会、船橋薬業会、千葉県医薬品小売商業組合、船橋薬剤師連盟からのお知らせ



3. その他

▶多職種連携

- ▶栄養士
 - ・2歳6か月児歯科健診「栄養相談」
- ▶食生活サポーター
 - ・3～6歳児・歯っぴいフツ化物塗布「食育コーナー」
- ▶保健師
 - ・3～6歳児・歯っぴいフツ化物塗布
 - ポピュレーションアプローチ「乳がん自己検診法」



▶災害対策

- ▶市民への啓発
 - ・保健センター事業や健康教育の場での講話やリーフレット配布
 - ・市ホームページ「大人の歯と口の健康情報」ページに掲載
- ▶職員内で情報共有
 - ・災害eラーニングの受講

